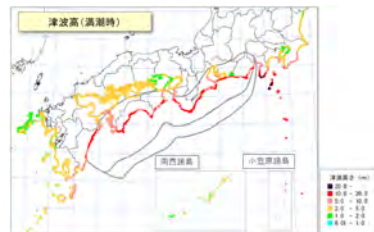


南海トラフ地震 知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。次の南海トラフ地震はいつ起きてもおかしくありません。

内閣府による被害想定によると、うるま市では、最短で77分後に津波が到達、最大津波高は4.0mが想定されています。

また、本土の被災が大きいほど沖縄県内への物流への影響が想定されます。



南海トラフ地震臨時情報とは (今年8月8日から1週間、(巨大地震注意)が発表されました)

「南海トラフ地震臨時情報」は情報名の後にキーワードを付記して、「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)」等の形で発表します。キーワードと付記する条件は下表のとおりです。政府や自治体から、キーワードに応じた防災対応が呼びかけられますので、呼びかけの内容に応じた防災対応をとってください。

南海トラフ地震 臨時情報

発表条件

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

キーワード

調査中

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

巨大地震警戒

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

巨大地震注意

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上 M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合
- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合
- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

調査終了

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合

地震や津波の備え

南海トラフ地震に限らず、大地震がいつ、どこで起こるかは分かりません。

家具の固定や避難場所・避難経路の確認、備蓄など日頃からの備えが大切です。

家族間の安否確認方法を話し合っておきましょう

災害時には、携帯電話の回線がつながりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。その際には以下のサービスを利用しましょう。また、携帯各社も災害用伝言版を提供しています。

災害用伝言ダイヤル
171
災害用伝言ダイヤル
web171



下記の体験利用日に、家族で体験してみましょう。
・毎月1日・15日
・防災週間(8月30日～9月5日)
・防災とボランティア週間(1月15日～1月21日)
・正月三が日(1月1日～1月3日)

うるま市HP
防災関連

